

# ホゴコンエースMS-F仕様書

用途            **コンクリート・モルタル面**  
**御影石・砂岩面・Pタイル面等**  
 （風呂場やシャワー室など、床面下地側に水分が残り易い場所への施工はお勧め出来ません。）

塗装環境の確認    （Ⅰ） 一般屋外（雨が掛かり濡れる部分）  
                           （Ⅱ） 屋内（雨の当たらない、又は当たりづらい）

（Ⅰ） 一般屋外の場合（雨が掛かる一般外部）

工程	使用材料	塗付量 ( $m^2/g$ )	工程間隔 (時間)	施工方法
1	ホゴコンエースMS-F	0.15~0.25	2以上	短毛又は中毛ローラー
2	ホゴコンエースMS-F	0.15~0.25	24以上	短毛又は中毛ローラー

（Ⅱ） 屋内側の場合（雨が当たらない、又は当たりづらい場所）

工程	使用材料	塗付量 ( $m^2/g$ )	工程間隔 (時間)	施工方法
1	ホゴコンエースMS-F	0.15~0.25	2以上	短毛又は中毛ローラー
2	ホゴコンエースMS-F (骨材抜き)	0.1~0.15	24以上	短毛又は中毛ローラー

## 注意

- ホゴコンエースMS-Fは、当日2回塗り仕上げです。施工面積の広い場合、予め、歩行導線を考慮しながら施工日程を決めます。
- 吸い込みが大きいコンクリート・モルタル面への施工の場合、ホゴコンエース **MS-F 艶有**りを骨材抜きで捨て塗りをして下さい。  
 （直接艶消しを塗り付けると、部分的に樹脂のみを吸い込んでしまい、その部分が濡れ色にならず、艶消し材が斑な状態で表面に残ってしまう場合があります。）  
 捨て塗りをする場合ホゴコンエースMS-F専用シンナーで20~30%希釈してお使い下さい。
- ホゴコンエース骨材量は、通常重量比（基剤：硬化剤：骨材 13：1：1）でセットされております。屋内側での施工では、骨材の隙間が狭くなると靴裏のゴミや汚れが詰まり易くなることがあります。（骨材量 $20g/m^2$ が目安です）  
 基剤と骨材の重量比 13：1を現場で調整してご使用下さい。
- 塗装面は、40~50cm程度の広さで縦・横十字に塗り進んで下さい。  
 骨材は塗り伸ばしづらいので、バケット内で軽く切ってから、又は、樹脂のみ塗付け、骨材を、追いかけてスプレーするか、高い位置からふるいなどで均一に撒いてください。1方向だけで仕上げると骨材筋が出やすくなります。